

令和元年度

第 8 回 区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会 次 第

日時：令和元年 12 月 11 日（水）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
場所：麻布地区総合支所
2階 第 3 会議室

- 1 開会
- 2 提言作成に向けて
- 3 グループ討議（地域事業の改善提案等のまとめ）
- 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）
- 5 その他

【配布資料】

- | | |
|------|------------------------------------|
| 資料 1 | 提言作成に向けたスケジュール |
| 資料 2 | 提言書の構成（案） |
| 資料 3 | 地域事業活性化シート |
| 参考資料 | 直近に開催される地域事業など（令和元年12月～令和 2 年 1 月） |
| 提出用 | 【提言書】感想・コメント用シート |

提言作成に向けたスケジュール

令和元年12月11日現在

■第7回（令和元年11月12日（火））

達成目標 提言作成に向けた事業の改善提案等のまとめ

主な内容 ・事業の「提案」を行う / ・提言作成に向けた提言書のイメージ共有

■第8回（令和元年12月11日（水））

達成目標 各分野での提言内容のまとめ

主な内容 ・事業の「提案」及び各分野の提案の取りまとめ
・各分野の提案内容について全体での共有と意見交換

□提言書の構成等についての意見聴取（令和元年12月18日（水）まで）

■グループでの検討結果（地域事業活性化シート）の送付（令和元年12月19日（木））

□グループでの検討結果についての確認・意見聴取（令和元年12月25日（水）まで）

□提言書に掲載する「感想・コメント」の提出（令和2年1月10日（金）まで）

■座長・副座長による提言書編集会議①（令和2年1月9日（木））

内容 提言書（素案）をもとに編集・校正作業

■座長・副座長による提言書編集会議②（令和2年1月16日（木））

内容 編集会議①を受けた編集・校正作業

■座長・副座長による提言書編集会議③

座長・副座長・リーダー・サブリーダー打合せ（令和2年1月23日（木））

内容 第9回分科会に向けた提言書（案）の最終調整及び確認等

■第9回（令和2年1月30日（木））

達成目標 提言書（案）の確認、掲載する素材の最終調整

主な内容 ・提言書（案）の確認、提言式や提言内容について等
・提言書に掲載する「感想・コメント」、「画像」等について

■座長・副座長・リーダー・サブリーダー打合せ（令和2年2月中旬）

内容 提言書の最終確認及び提言式について

□座長・副座長・リーダー・サブリーダーによる提言式のリハーサル（令和2年3月予定）

■提言式（令和2年3月27日（金））

内容 区長に提言書を提出

提言書の構成（案）

提言書の目次（案）

はじめに（座長・副座長あいさつ）

I 提言作成にあたって

- 提言作成にあたっての考え方
- 地域事業の活性化に向けた評価と検証

II 麻布地区政策分科会からの提言

分野Ⅰ かがやくまち（街づくり・環境）

- 提言1 六本木安全安心プロジェクト
- 提言2 「地域と事業所」防災連携プロジェクト
- 提言3 みんなでエコっとプロジェクト

分野Ⅱ にぎわうまち（コミュニティ・産業）

- 提言4 みんなでまちをよくする「ミナヨク」
- 提言5 AZABU WORLD FESTA
- 提言6 麻布未来写真館

分野Ⅲ はぐくむまち（福祉・保健・教育）

- 提言7 地方交流事業
- 提言8 地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～
- 提言9 麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

麻布地区政策分科会からの提言のまとめ（総括）

※座長・副座長によるまとめ

※各分野の冒頭に、リーダー・サブリーダーからの一言＋写真を入れます。

III 麻布地区政策分科会について

- 1 目的
- 2 活動概要
- 3 委員構成
- 4 感想・コメント
- 5 わたしの声を区政に（提言以外に区政全般等についての意見があれば掲載）

☆前回、平成28年度の提言書は、港区ホームページで見ることができます。

https://www.city.minato.tokyo.jp/azabuchikusei/keikaku/documents/01_teigensyo_20170324.pdf
「麻布地区版計画書の見直しに向けた提言書」で検索

地域事業活性化シート

提言作成に向けて、各グループでの検討作業に用いる資料を「地域事業活性化シート」として仮作成しました。

今後の検討は、各グループに各事業1枚ずつ配布される「地域事業活性化シート」の項目を埋めていくかたちで進めてください。なお、事業によっては埋められない項目があるかと思えますので、柔軟に対応してください。

分野	事業名	所管課
分野Ⅰ かがやくまち (防犯・生活安全)	六本木安全安心プロジェクト ～ルールー違反ゼロの六本木へ～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (防災)	「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (環境・エコ)	みんなでエコっとプロジェクト	まちづくり課
分野Ⅱ にぎわうまち (コミュニティ)	みんなでまちをよくする「ミナヨク」	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (多文化交流・コミュニティ)	AZABU WORLD FESTA	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (歴史・文化)	麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～	協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (コミュニティ・青少年育成)	地方交流事業	管理課 協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (高齢者支援)	地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～	区民課
分野Ⅲ はぐくむまち (生涯学習・歴史・文化)	麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～	協働推進課

■分野Ⅰ かがやくまち（防犯・生活安全） 地域事業名：六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・ルール違反に対して、注意する権限を持っているわけではないので、取組に限界がある。	1	3	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	3	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・憲章デザインを活用し、キャンペーンに着用するベストや周知のためのフラッグなどに用いている。	1	3	5
事業の効果はありますか。 ・賛同事業所は増加しているが、そのことが知られておらず、もっとアピールすべき。 ・継続していくことで効果を上げていくことが大切。	1	3	5
事業の課題は何ですか。 ・憲章デザインの効果を検証すべき。 ・効果を上げていくためには、賛同事業所へのインセンティブが必要ではないか。 ・キャンペーンなど、参加者が限定されているところがある。 ・外国人や区外からの来街者に対してどのように周知していくかが課題。 ・自転車の危険走行などにも対応していくべき。	1	3	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・六本木という繁華街を有する麻布地区において、まちの安全・安心を保つために必要な活動と考える。	1	3	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持 改善 ・拡充）	統合	廃止
■事業目的や内容は良いので、さらに活動を活発にしていくような新たなコンテンツの導入を検討する。			
【評価できる点】 ・事業名称は良い。			
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・憲章デザインは住民に認知されておらず、憲章デザインの効果を検証してはどうか。 ・「喫煙」「違法駐輪」「自転車走行マナー」については取組を強化すべき。 ・「ルール違反ゼロ」に近づけるため、活動を活発にするべき。 ・外国人へのルールの周知をどうしていくか。 ・新たな住民や事業者など、参加者のすそ野を広げていくような取り組みが必要。			

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ①取組の強化 ・エリアや期限を定め、集中的な取組を行う。 ・過料の導入については、港区全体で検討すべきだが、まず六本木地区で実証実験を行う。 （先進事例：千代田区） ・「喫煙」は規制を厳しくしていくのと同時に喫煙スペースも増設する。また、設置場所を分かりやすく示していく。 ・自転車の走行マナーも取組に加えていく。 ②周知方法の検討 ・憲章デザインによる効果を検証し、検証結果によってはデザインを見直していく。 ・外国人への周知は・・・ ③参加者のすそ野を広げていく取組 ・賛同事業所へのインセンティブが必要。 ・清掃活動などまちの美化に対し、「みんなでエコっとプロジェクト」と連携した取組を行い、幅広く活動の参加者を募っていく。
効果と課題 【期待される効果】 ・取組強化により、ルール違反者ゼロを目指す。 ・取組強化による話題性で広く周知を図る。 【想定される課題】 ・実証実験に向けた申請などの準備。 ・デザインの検証方法

■分野Ⅰ かがやくまち（防災） 地域事業名：「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・麻布地区の防災として何をやるべきか。	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・ネットワークを小規模化し、モデル地区を設定した。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・知らない人が多い。関心のないところへいかに周知していくか。 ・「地域」の対象がわかりにくい。 ・事業所をどのように参加させるかが課題。小規模事業所（個人事業所）をいかに参加させる仕組みを作るか。 ・どういった事業所を対象にしていくかの事業所への周知の基準がこれまでなかった。 ・リアリティを持って参加できない、現実味がない。 ・平面だけでなく、マンション防災など立体で考える視点が必要だ。港区は共同住宅が8割と多い。 ・商店会や町会への不信があり、若い人は活動への参加を敬遠している。 ・参加する事業所へインセンティブを与えていく。 ・帰宅困難者に対して何が出来るか。	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・そもそも事業所の防災を地域事業でやるべきか。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充） ・ 統合 ・ 廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等	
【評価できる点】 ・組織（事業者）を対象とした事業なので、区民からの視点では評価しにくい。	
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・地域事業から外して別事業（計上事業）としていく。 ・麻布地区として防災に関して新たな提案をする。 ・防災活動への啓発は根気よく継続していくしかない。	

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ①新たに麻布地区へ転入する区民に対して、転入時講習を行う新規事業を検討する （目的） ・麻布地区の新住民として、麻布地区のルールを知ってもらう。 ・地区のルールや活動を理解してもらい、新たな担い手として活動してもらう。 （対象） ・麻布地区内に転入して1年未満の区民 （活動内容） ・麻布の新住民を対象としたまちのルールを周知する講習を開催する。 ・講習のテーマは、防災、ごみ、喫煙、自転車マナーなどまちのルール。 ・講習はまちのルールだけでなく、地区の分科会活動を紹介し、活動への理解と参加のPRを行う。
効果と課題 【期待される効果】 ・まちのルールの周知を効率よく行うことができる。 ・地域の活動を理解することで、まちの将来の担い手の育成につなげることができる。
【想定される課題】 ・講習を任意とした場合、参加者が集まるか。 ・講座をどのくらい開催するか。

■分野Ⅰ かがやくまち（環境・エコ） 地域事業名：みんなでエコっとプロジェクト

（所管課：まちづくり課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・実施回数を年3回から6回に増やした。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。 ・実施回数を増加したことにより参加者数は増えている。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・参加者の満足度を上げる取組み ・マンネリ化を防ぐ取組み ・学校教育との関係性はどうか。	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・参加者は麻布地区に限っていないが、問題ないか。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・ 拡充 ）	・	統合	・	廃止
■事業内容や目的は良く、参加者の満足度も高いため、さらに発展させていくため、参加対象や事業者との連携を検討するような改善を行う。					
【評価できる点】 ・参加人数も増加し、参加者の満足度は高いと思われる。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・六本木の美化活動に関する取組みを検討してはどうか。 ・地域の事業者と連携した取組みを検討してはどうか。 ・事業名称に「みんな」とあるので、地域住民や企業の参加も検討してはどうか。 ・名称の変更、例えば、「みんな」から「親子」 ・コンテンツを工夫していく。					

3. 提案

理由
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案
<ul style="list-style-type: none"> ①まちの清掃活動など、エコの幅を広げていく <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動に親子で参加できるような機会をつくってはどうか。 ・ごみひろい競争など清掃活動に参加しやすい工夫を行う。 ・活動参加を表彰する仕組みを検討してはどうか。 ・「六本木安全安心プロジェクト」との連携を検討する。 ②地域のエコ活動に取り組む企業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・麻布地区（区内）のバイオマス企業など見学。 ③名称の変更または参加者の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・名称と内容が一致したほうが良い。 ・名称を「みんなで」とするならば、参加者を拡大し、企業なども参加するような事業とする。 ・事業内容がこのままならば、事業内容に則した「親子で」としたほうが良い。
効果と課題
<p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものころから地域（まち）の美化への関心を高めることができる。
<p>【想定される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動で多くの参加者を集うことができるか。

■分野Ⅱ にぎわうまち（コミュニティ） 地域事業名：みんなでまちをよくする「ミナヨク」

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	①	・	3	・	5
・「次世代のコミュニティリーダー」というのが具体的になんなのかが不明瞭。 →町会・自治会等で活躍できる人、地域で自主的なコミュニティ活動ができる人、					
事業計画は目的に沿っていますか。	①	・	3	・	5
・コミュニティリーダーを育成するという点に対して、講座への参加が1年（7回程度）と限定されている点については見直しが必要ではないか。					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	①	・	3	・	5
・修了生の地域とのつながりづくりについてのフォローが足りていない。 →目的に応じて、フォローアップのかたちも変わるので、まず「目的」を明確にする必要がある。					
事業の効果はありますか。	①	・	3	・	5
・修了生が実際に地域で活躍しているのかの調査が必要。 ・講座で提案されたアイデアのうち、どの程度が実際に行われているのか等の検証が必要。 ・費用対効果についても検証が必要。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・地域で活躍する人材の育成という点で、「あざぶ達人ラボ」と似ている点がある。 ・目的に応じて講座への参加方法や20代から40代という枠については検討が必要。 ・その他、事業の目的の明確化や目的にあったプログラムの再検討が必要。					
麻布地区にふさわしい事業ですか。	1	・	3	・	⑤
・町会・自治会等の活動を継承していく人材が不足している点、また、多くの企業が立地するなかで、企業との協働連携により地域コミュニティの活性化を図れる点について、麻布地区にふさわしい事業と言える。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■課題等についての改善が必要					
【評価できる点】					
・「ミナヨク」とおして、地域にはいっていききっかけがつかれるという点は評価できるので、事業としては継続していく方向でいいのではないか。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・目的に応じて、講座への参加方法（1回限りの参加ではなく、継続して参加できる等）を見直す必要がある。 ・他の事業でも言えることだが、広報にあたってのちらし配布やポスター掲示について、ただただ多くばらまくのではなく、事業の目的に応じて配布数や配布場所等を考えていくべき。					

3. 提案

理由	・「ミナヨク」の考え方はよくわかるが、事業としては目的が不明瞭。ここでは何が目的で、そのために必要な具体的なプログラムを実施していくことが必要。
提案	<p>■事業の目的を明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティリーダー」の育成（コミュニティリーダーがなんなのかを明確にする） ・「リーダー」の育成というハードルの高さを改善（サポーターの育成） <p>■プログラムの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的にあったプログラムの検討（継続参加、町会・自治会との関係構築など・・・） →リーダー養成：1年間ではなく継続した講座が必要 →サポーター育成：毎年決まっている地域のイベントをフィールドに講座を設定 具体的な目標を定めたプログラムによりコミュニティサポーターを育成 町会・自治会のイベント等にあわせて活動を実施、実際に地域のイベントに参加する ・地域とのつながり構築のための手法の検討 <p>■広報・周知、PRについての考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミナヨク」の目的に合う人材がどこにいるのかを考えて募集にかかる広報活動をしていく →対象者の属性、対象者がどこにいるのかをまずは検討 リーダーになりそうな人がいる場所が不明 対象者は、①20～30代で特定のコミュニティに属していない単身者 ②20～30代で・・・子どもがいる・・・等、 →支所や区有施設への無駄な配架が多いかもしれない →町会・自治会経由での配布：マンション・自治会によっては全く機能しない →掲示板は気が付けば誰でも見るので比較的有効 →全児童配布（学校を通じて、ちらしが親に行きわたるようにすること）の効果は目的による
効果と課題	<p>【期待される効果】</p> <p>【想定される課題】</p>

■分野Ⅱ にぎわうまち（多文化交流・コミュニティ） 地域事業名：AZABU WORLD FESTA

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
・前回見直しで、2つの事業を統合して構築したため目的がいまちはっきりしていない。 ・「AZABU WORLD FESTA」という名称と内容があていない。					
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
・事業実施から2年目ということで、評価しがたい。					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
・支所で実施しているイベントは単発のものが多く、参加機会がなかなか得られないので、一定期間継続したイベントを実施するという点では反映されている。 ・詳細な内容等については、反映しているとは言えない。					
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
・現状では評価できない。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・外国人等を含む、これまで地域とのふれあいがなかった人の参加ができていないのか分からない。 ・商店街等の協力のもと実施しているスタンプラリーについて、商店街等のメリット・デメリットをしっかりと把握する必要がある。 ・その他、課題はいろいろとある。					
今後も麻布地区に必要な事業ですか。	1	・	3	・	5
・港区ワールドフェスティバル等、支援部で実施しているイベントとネーミング的にも違いが分からない。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■事業の手法や目的、事業名称も含め、内容の再構築をすべきではないか。					
【評価できる点】					
・場所や日程を限定せずにイベントを構築するという点は前回提言内容に合致している。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・一部内容が地方交流事業で実施すべき内容になっているので、切り離すべき。 ・事業実施から2年目ということで、事業内容についてもしっかりとしたかたちができていない。今後、事業内容も含め検討が必要ではないか。 ・周遊型のイベントにこだわらず検討してもいいのではないか。					

3. 提案

理由
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが参加できるという視点を第一に、麻布の文化や歴史、誰もが興味を持つ食などをテーマにしたイベントを実施し、「麻布」「地域」を知ってもらおうという目的に沿って事業を検討すべき。 現状、麻布地区や港区、また民間や商店会、町会・自治会で実施しているイベントが多くあるなかで、もし「AZABU WORLD FESTA」としてイベントを実施するのであれば、もっと明確な目的や他のイベントとの違いや特色、麻布地区の地域事業で実施する意味などを検討する必要がある。 多くの外国人が居住しており、大使館も多く、外国人の来街者も多い、「国際性豊かな」という麻布地区の特性を生かした取組を、地域事業として対応する必要がないのであれば、廃止という考え方もあるのではないか。
提案
<ul style="list-style-type: none"> ■多文化等のキーワードを残しつつ、麻布地区の地域事業を横断的につなぐイベントへの再構築 <ul style="list-style-type: none"> 麻布の祭りのようなイベントに再構築 <ul style="list-style-type: none"> →日本文化と海外文化 地域事業の課題を解決できるイベントにする <ul style="list-style-type: none"> →「ミナヨク」修了生によるアイデア実施の場、ボランティア・サポーターとしての参加 →「麻布未来写真館」の活動成果の新たな発表の場 →その他事業の成果発表 地域に関係する様々な人が参加できるイベントにする <ul style="list-style-type: none"> →東洋英和女学院との連携 ■従来のイベントにおける課題等を解決するためにスタンプラリー等のイベントとして詳細検討 <ul style="list-style-type: none"> 1日限りで行う区のイベントにわざわざ参加をしたいとは思わない人も、これだったら参加してみようかなと思えるイベントを再検討する。
効果と課題
【期待される効果】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（歴史・文化） 地域事業名：麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・ おおよそ理解できる。	1 3 5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・ おおよそなっている。	1 3 5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・ 新たな取組としてARを活用した発信等は実施。 ・ これまで作成したパネル等成果物の活用については、新たなアイデア等が必要。	1 3 5
事業の効果はありますか。 ・	1 3 5
事業の課題は何ですか。 ・ これまで作成したパネル等の成果物の活用。 ・ 古い写真が集まらない。	1 3 5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・ これまで継続して麻布地区の古い写真の収集や現在の記録を行ってきている。今後も継続していくべき事業であるが、全庁的に写真等のアーカイブ化が進んでおり、また、他地区でも同様の地域事業が実施されている。	1 3 5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（ 維持 ・改善・拡充） ・ 統合 ・ 廃止
■課題等についての改善が必要	
【評価できる点】 ・ 麻布地区に関する写真等の資料を収集・保存していくということで継続して事業を実施している。 ・ 収集した資料をもとにパネル展の開催を積極的に行っている。	
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・ 作成しているパネルは、主に古い写真と新しい写真の比較で構成されている。新しい写真、麻布の「今」を撮りためていくこととあわせて、古い写真の収集に力を入れていく必要がある。 ・ 作成したパネルについては、現状、区や区の関係施設等での常設展示、限られた場所での企画展示での活用にとどまっている。今後は企業への貸出し等も検討する必要がある。 ・ 収集した資料（写真）や作成したパネルのデジタル化とあわせて、誰でも活用できる工夫が必要。	

3. 提案

理由 ・ 古い資料を収集+今の麻布を保存する取組は重要 ・ パネルを作成して情報発信していくことについても認知はされつつある。 ・ 上記、いずれの2点についてより強化していく必要がある。 ・ これまでも提言をしているが改善されていない部分について、なぜなのかを検証し、誰が、どのように、という具体的な提案（提言）を作成する必要がある。
提案 ■パネル+ガイド ・ 地区内のガイドが、麻布未来写真館で作成したパネルや古い写真等を活用できる方策を検討する。 ・ パネル展などにあたって、パネルの説明をするガイドを付けたほうが分かりやすい。
■これまで作成したパネルの活用 ・ 公共交通施設（地下鉄駅など）での展示の検討。 ・ 企業等への貸出しの検討。 ・ 地元の商店会等への貸出し。
■他の地域事業等との連携強化 ・ 新たに内容を構築する「AZABU WORLD FESTA」とのコラボ ・ 「ちょこっと立ち寄りカフェ」との連携強化（地元の高齢者から古い写真を集められるかも？） ・ 町会・自治会との連携（写真募集・・・）
■写真（資料）の収集と保存について ・ 古い資料の収集について → 「ちょこっと立ち寄りカフェ」や各いきいきプラザで実施しているイベントで募集。 → 地元の商店会、昔からある店舗等への直接訪問。 ・ 古い資料の収集には限りがあるので、今の麻布を記録収集することに重点を置くのも良い。
効果と課題 【期待される効果】
【想定される課題】 ・ 現状の分科会メンバーだけで担える提案になっているかどうかの検証が必要。

■分野Ⅲ はぐくむまち（コミュニティ・青少年育成） 地域事業名：地方交流事業

（所管課：管理課・協働推進課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・麻布に必要な事業なのか。 ・港区ではできない自然体験ができる	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・保護者へのフィードバックも必要	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・舟形町から港区への交流事業を実施。 （舟形町の魅力PRイベントで舟形町の中学生が港区へ。「郷土Yamagataふるさと探求コンテスト」で、最優秀賞「ふるさと探求大賞」を受賞） ・埼玉県小鹿野町との交流を開始 ・募集方法は依然不十分な点がある。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。 ・参加者のアンケートからしっかりとフィードバックを得ることが必要。 ・保護者へのフィードバックも必要 ・舟形町からのフィードバックを。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・麻布地区外の学校へ通っているとこのイベントを知らない。 ・麻布地区内の魅力を掘り起こす事も必要。 ・広報の仕方	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・リピーターが多いのではないかと、区外の参加者がいるのではないかとこの指摘があったが、現在は麻布地区での公開抽選を行っており、公平性も担保されている。 ・東麻布との関わりは今後も大切にすべきである。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充） ・ 統合 ・ 廃止
<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <p>・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等</p>	
<p>【評価できる点】</p> <p>・ニーズのある事業である。 ・「舟形町の魅力PRイベント」の雰囲気がとても良く、盛況だった。</p>	
<p>【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】</p> <p>・事業のタイトルを魅力的に。 ・事業実施後、麻布地区の参加者と舟形町の参加者で個人的なつながりがもっと生まれると良い。 ・交流先とのマッチング（子ども同士、大人同士、家庭同士など世代間のマッチング） ・地方交流事業＝サマースクールだけに留まらない取り組みにする。 ・災害時の相互連携が取れるようにするなど、別の視点も入れる。</p>	

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■ ・参加した児童が大人になったらボランティアに来るようなつながりを。 ・事業の目的を一本化しては。 ・前回提言書のP.58「地域事業活性化事業」の実現を。 →広報の仕方のアイデアを募集してはどうか ・交流先を「広げる」だけでなく、「深める」。 ・事業の効果を示す。 ・参加者の声を可視化する ・現地の家庭へホームステイ ・「縄文の女神」の魅力を発信（文化交流） ・学校とのつながり ・ネット上での交流 ・サマースクール以外にも小さいイベントを増やす。 ・事業のネーミングを考えよう！
効果と課題 【期待される効果】 ・サマースクール以外にも小さいイベントが増えれば広報の効果が上がる。
【想定される課題】 ・小鹿野町との交流を今後どうするか。

■分野Ⅲ はぐくむまち（高齢者支援） 地域事業名：地域サロン ～ちよこっと立ち寄りカフェ～

（所管課：区民課）

1. 評価

事業の目的は適切ですか。 ・「場」があるというのはいい事。さらなる定着を	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。 ・目的を次のフェーズに。→数値目標等が必要か？	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・回数を増やした事で参加者は増えているが、依然男性参加者の割合が少ない。 ・「麻布未来写真館」や「あざぶ達人ラボ」との連携イベントを実施した。 →男性向けのコンテンツを増やした事で男性の参加者が増えている。	1	・	3	・	5
事業の効果はありますか。 ・事業者が継続的の運営をしている事で、過去の状況の蓄積ができ、「高齢者の見守り」につながっている	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・7割がリピーター ・男女比が1：9 →「歴史」に関わることには男性参加者が増える。図書館には男性はよく行く ・「出てこない人」へのアプローチをどうするか →「クチコミ」や、誘い方の工夫を。	1	・	3	・	5
今後も麻布地区に必要な事業ですか。 ・地区の障害児施設等と連携ができるのではないかな。 ・「麻布」での事業なので、麻布についてのイベントをふやすべき ・全庁的に取り組む事業である。	1	・	3	・	5

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・ 拡充 ） ・ 統合 ・ 廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等	
【評価できる点】 ・（事業を見学して）とても参加者が生き生きとしていた。 ・介護予防としても有意義 ・成功事例だと思う。 ・リピーターが多いということは成功しているということ。 ・（事業を見学して）麻布達人ラボとの連携イベント、麻布かるたは人気だった。	
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】 ・施設の運営者側のイベントと麻布地区のイベントの差別化 ・民間との連携 ・内容が女性向きのものが多く、男性が参加しづらいという声がある。 ・「ありすいきいきプラザ」と他のいきいきプラザとで差があるのでは。	

3. 提案

理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案 ■目的を次のフェーズへ ・成功事例だと思うので、この事業とはまた別の展開へ。 ・アクティブシニアへの新企画→新事業 ・次のステージへ向けてヒアリングをする。 ・【麻布ブランド】をもっと全面に打ち出す。 →麻布＝外国人・障害者等々、多様な人々を受け入れる。
・子育て世代へもアプローチを。 ・事業者のレビューの機会を設ける。 ・「企画力」と「実行力」がカギなので、「企画」を沢山考えることをしては。
【対象者】 ・マーケティング的に深掘りして参加者やニーズの把握をする。 ・本当に来てもらいたい人へのアプローチ。 ・参加者アンケートを実施し、分析する
【場】 ・歴史散策イベントの案内 ・図書館で実施する
【コンテンツ】 ・コミュニティが立ち上がるようなコンテンツ ・港区の取組やサービスを案内する。 ・地域の若者（ミナヨク）との連携イベント ・カラオケは人気がある
効果と課題 【期待される効果】 ・コミュニティが立ち上がるようなコンテンツ →継続的なコミュニティの形成につながる ・港区の取組やサービスを案内する。 →地域への愛着を持てる。PRの場としていい機会になる。
【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（生涯学習・歴史・文化） 地域事業名：麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

(所管課：協働推進課)

1. 評価

事業の目的は適切ですか。	1	・	3	・	5
事業計画は目的に沿っていますか。	1	・	3	・	5
・まち歩きが平日の昼間だと、若い人は参加しづらい。					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
・まち歩きの回数を増やした。					
事業の効果はありますか。	1	・	3	・	5
・資料などはとてもよくできている。 ・まち歩きはいつも満席					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・ラボメンバーの高齢化。若い世代のラボメンバーを増やす事が課題 ・活動内容の蓄積とアウトプット。せつかくいいコンテンツがあるのにうまく活用できていない。 ・属人化している感がある ・次の世代にどう引き継ぐかが課題 ・定期的なメンバーの補充を。 ・メンバーに任期を設けるのも一つの案					
今後も麻布地区に必要な事業ですか。	1	・	3	・	5
・地区の学校との連携を。地元地域の研究をする課題があるので、紐付けられるのではないかな。 ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」とも連携できるのではないかな。 ・麻布ならではの事業である。					

2. 検証

この事業は、今後どうしていったらよいですか。	継続（維持・改善・拡充）	・	統合	・	廃止
■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等					
【評価できる点】					
・資料などはとてもよくできている。 ・麻布ならではの事業である。					
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】					
・麻布かるたの活用方法 ・麻布ならではの事業なのでそこを掘り下げ強化して他の地域事業と連携が取れたら良い。 ・柔軟なテーマ選び ・クラブ活動的に感じる ・次の世代へどう引き継ぐのか。					

3. 提案

理由
・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
提案
■広い視点で、目的も広く
【コンテンツ】
・切り口を変えてみる ・麻布の「今」を知るトピックを増やす。生活の役立ち情報など。 ・麻布の「今」と「昔」をつなぐ →バードウォッチング、「花」をテーマにする、法律相談 ・（まち歩きテーマ案）パワースポット・心霊スポット・スピリチュアル ・古地図や地形の情報は防災の分野へも役立てられるのではないかな。
【連携】
・「ミナヨク」と似ているところは連携ができる。 ・他地区で同じように（地域を盛り上げるための）活動をしている団体と、相互交流・PR ができるのではないかな。水平展開をする。 ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」ともっとコラボレーションする。 ・幅広い世代を受け入れる ・学童クラブとの連携
・映像として記録に残す。 ・各事業のPRの時に、地域事業とはどういうものか、という説明を入れる。
効果と課題
【期待される効果】
・新しい麻布（麻布の今）を知るコンテンツ。 →幅広い世代、他の分野へ展開できる。 ・若い世代や子育て世代を巻き込む。 →地域へ愛着を持ち、住み続けたいと思う。 ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」ともっとコラボレーションする。 →ちょこっと・・・は女性が多く、達人クラブは男性向けのコンテンツが多いので、相互の効果がある
【想定される課題】

直近に開催される地域事業など（令和元年12月～令和2年1月）

☆麻布地区総合支所の募集・イベント情報は以下を参照ください。

<https://www.city.minato.tokyo.jp/azabu/boshu/index.html>

【分野Ⅰ】かがやくまち

■六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～（協働推進課）

令和元年度第8回「六本木安全安心プロジェクト」及び「夜間客引き防止キャンペーン」

日 時 令和元年12月13日（金） 18:00～19:00 ※雨天の場合団結式のみ（パレードなし）

場 所 麻布警察署（集合） ⇒ 六本木交差点周辺（実施場所）

令和元年度第9回「六本木安全安心プロジェクト」

日 時 令和2年1月23日（木） 10:00～11:00 ※雨天の場合翌日同時刻に順延

場 所 三河台公園（集合） ⇒ 六本木交差点（実施場所）

参加申込 ・事務局にご連絡ください。

備 考 ・「六本木安全安心プロジェクト」年間スケジュール
<https://www.city.minato.tokyo.jp/azabukyoudou/roppongikenssyou/roppongiannzennanssinprojekuto/31anpuronenkansuke.html>

■「地域と事業所」防災連携プロジェクト～更なる共助体制の構築をめざして～（協働推進課）

麻布地区防災ワークショップ「地域とつながって、災害に備えよう！」

日 時 令和2年1月23日（木） 15:00～17:00

場 所 麻布区民協働スペース

備 考 ・当日見学を希望の方は事務局にご連絡ください。

【分野Ⅱ】にぎわうまち

■みんなでまちをよくする「ミナヨク」（協働推進課）

みんなでまちをよくする「ミナヨク」Day 6

日 時 令和元年12月14日（土） 13:30～18:30

場 所 HAB-YU platform（港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー3F）

みんなでまちをよくする「ミナヨク」Day 7

日 時 令和2年1月18日（土） 13:30～16:00

場 所 未定（麻布区民協働スペースまたは六本木区民協働スペース）

備 考 ・当日見学を希望の方は事務局にご連絡ください。
 ・「ミナヨク」の今年度プログラム及びこれまでの活動
<https://www.city.minato.tokyo.jp/azabuchikusei/chiikijigyo/minayoku.html>

■AZABU WORLD FESTA（協働推進課）

麻布お散歩スタンプラリー 麻布の食・文化・歴史を巡る

日 時 令和元年11月25日（月）～12月15日（日） ※店舗等の開店時間による

場 所 麻布地区商店会店舗・文化施設

■麻布未来写真館 (協働推進課)

麻布未来写真館 パネル展 ④	
日 時	令和元年 12 月 2 日 (月) ~ 12 月 15 日 (日) 9:00~20:00 ※最終日 17 時まで
場 所	ありすいきいきプラザ 1 階 展示・読書コーナー
麻布未来写真館 パネル展 ⑤	
日 時	令和 2 年 1 月 22 日 (水) ~ 1 月 28 日 (火) 8:30~17:15 ※初日 19 時まで、最終日 16 時まで
場 所	港区役所 1 階ロビー
麻布未来写真館 パネル展 ⑥	
日 時	令和 2 年 1 月 31 日 (金) ~ 2 月 13 日 (木) 10:00~19:00 ※18:50 までに入館、最終日 16 時まで
場 所	フジフィルム スクエア (港区赤坂 9-7-3)

【分野Ⅲ】はぐくむまち

■地域サロン ~ちょこっと立ち寄りカフェ~ (区民課)

①ちょこっと立ち寄りカフェ 《クリスマスのスワッグ(壁飾り)を作ろう》	
日 時	令和元年 12 月 12 日 (木) 13:30~15:30
場 所	ありすいきいきプラザ
②ちょこっと立ち寄りカフェ 《楽しく聴こう♪ 歌おう♪ クリスマスコンサート》	
日 時	令和元年 12 月 19 日 (木) 13:30~15:30
場 所	西麻布いきいきプラザ
③ちょこっと立ち寄りカフェ 《クリスマスパーティー ビンゴゲームで素敵な景品を当てよう》	
日 時	令和元年 12 月 25 日 (水) 13:30~15:30
場 所	南麻布いきいきプラザ
④ちょこっと立ち寄りカフェ 《新年お楽しみゲーム会 お年玉景品もあるよ!》	
日 時	令和 2 年 1 月 8 日 (水) 13:30~15:30
場 所	飯倉いきいきプラザ
⑤ちょこっと立ち寄りカフェ 《新年早々手品でびっくり!!》	
日 時	令和 2 年 1 月 9 日 (木) 13:30~15:30
場 所	ありすいきいきプラザ
⑥ちょこっと立ち寄りカフェ 《新春落語》	
日 時	令和 2 年 1 月 16 日 (木) 13:30~15:30
場 所	西麻布いきいきプラザ
⑦ちょこっと立ち寄りカフェ 《麻布未来写真館 南麻布の今昔を写真で見る》	
日 時	令和 2 年 1 月 22 日 (水) 13:30~15:30
場 所	南麻布いきいきプラザ
参加申込	申込不要(当日会場にて受付、参加費 100 円)
備 考	プログラムは変更になる場合があります。

■麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～ (協働推進課)

まちあるき部会

日 時	令和元年 12 月 17 日 (火) 18:30~20:00
-----	--------------------------------

場 所	麻布区民協働スペース
-----	------------

連携部会

日 時	令和 2 年 1 月 15 日 (水) 18:30~20:00
-----	---------------------------------

場 所	麻布区民協働スペース
-----	------------

日 時	令和 2 年 1 月 28 日 (火) 14:30~20:00
-----	---------------------------------

場 所	麻布区民協働スペース
-----	------------

備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・当日見学を希望の方は事務局にご連絡ください。 ・1/28 の連携部会は、サロン麻布と合同で開催します。 ・研究部会の直近の活動日程は、事務局へお問い合わせください。
-----	---